

---

## 第 2 回練馬区文化芸術振興有識者委員会要点記録

- ◆ 日 時 : 平成 21 年 6 月 29 日（月）午後 1 時 30 分～午後 3 時 40 分
- ◆ 場 所 : 練馬区役所西庁舎 8 階第 4 委員会室
- ◆ 出席委員 : 4 名

### ◆ 次 第

#### 1 有識者委員会議事録について

#### 2 案 件

##### (1) 文化芸術振興施策の将来の方向性について

###### ○事務局

(参考 1 「区政モニターアンケート結果 (概要)」に沿って説明。)

###### ○委員長

「伝統工芸展」はどこでやったのですか。

###### ○事務局

石神井公園駅北口の石神井公園区民交流センターです。こちらは 2 階が展示室になっておりまして、伝統工芸展の際には江戸筆や江戸小紋の創作等職人さんの実演を実施しています。3 日間で、概ね 3,000 名のお客様がお見えになります。

###### ○委員長

大変魅力的な事業だと思います。

###### ○事務局

(参考 2 「文化振興協会友の会会員アンケート結果 (概要)」に沿って説明。)

###### ○委員長

友の会には誰でも入れるのですか。

###### ○事務局

年会費 2,000 円でどなたでも入会できます。特典として、チケットが 1 割引になる点や、一般発売よりも先にご予約出来るというメリットがある他、情報の提供として、機関紙「アンコール」をご自宅にお送りしております。

###### ○委員長

3 ページ 1 2 番の設問の新たな事業の「文学」とは何ですか。

**○事務局**

五味康祐氏や檀一雄氏などの練馬ゆかりの文学者の方々の情報や文学館的な機能になります。

**○事務局**

(参考 3 「石神井公園ふるさと文化館について」に沿って説明。)

**○委員**

石神井公園ふるさと文化館の中には元の郷土資料室の収蔵品などは入るのですか。

**○事務局**

石神井図書館の地下に、郷土資料室がありました。この中の展示物については、選定は行いますが石神井公園ふるさと文化館に引き継ぎをする予定です。それに合わせて、観光情報等も新たに機能として加えることになります。

**○委員長**

武蔵野の食文化というと、うどんなのですか。

**○事務局**

練馬区の食文化として何があるかということで検討した結果、武蔵野地域でうどんが伝わってきたことがあったため、饅頭やうどんなどの小麦粉の文化を考えました。

この石神井公園ふるさと文化館建設について、建設準備委員会を開いていまして、学識経験者の方や地元の方等がメンバーに入っています。「練馬の食文化って何か」という話をしたときに、昔から晴れの日の言葉として「朝饅頭に、昼うどん、夜は金歯の米の飯」という言葉があり、何かあるとうどんを打っていたそうです。武蔵野全体の食文化として考え、うどんを出店させようということになりました。

**○委員長**

何か新しいうどん料理を作っているのですか。

**○事務局**

「エン座」というお店に入ってもらおうのですが、農林水産省の助成金をもらいまして、乾麺の中に練馬大根の葉っぱを練り込んだものを、売り出そうと現在試作品をつくっている最中です。

**○委員長**

それはいいかもしれないですね。

**○委員**

練馬大根の話が出ましたが、今ほとんど栽培されていないことを前に聞いたことがあるのですが復活しているわけですか。

### ○事務局

練馬大根については、戦前から特に沢庵用として生産されたのですが、家庭の食生活が随分変化してきたため、あまり大根が食べられなくなってきた。また、練馬大根が非常に長くて折れやすいということで、出荷の際に痛んでしまうこともあって、青首大根にとってかわられたということがありました。

ただ、20年ほど前から練馬区として練馬大根は、地元の産物として守るべきだろうということで、区とJAが協力して復活させ現在も生産されています。年間大体1万本弱生産されておりまして、冬の時期になると収穫され沢庵にしたり、一昨年より学校給食においても、1日練馬大根を食する日がありまして、教育の現場の方でも、「こういうものが練馬の食文化だ」ということで、食育の一貫としても使われております。

### ○事務局

（資料1 1鑑賞機会の充実の説明。）

### ○委員

1鑑賞機会の充実の「海外の著名な芸術家やオーケストラなどを招聘して低料金で」とありますが、地方都市では可能性としてないわけではありませんが、現実論として、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団やベルリン・フィルハーモニー管弦楽団等が、サントリーホールで行っているのを練馬でというのは、難しいと思います。

蜷川幸雄さんなど特別の監督を迎えてということのように、練馬文化センターは練馬文化センターでしか行えないような個性のあるものを作っていくべきではないか。例えば、新国立劇場で行っているようなオペラに対抗して、お金がなくて困っている室内オペラ劇団に対して、毎年1回サポートするとかそれ以外でも、室内オペラだったら練馬文化センターだと言って関東の人がみんな来るといような発展のされ方をした方が、クオリティの高いものを区民に提供ができると思います。

### ○委員長

今の意見に賛成ですが、あまり名前は知られていないと、小さな室内オペラをやってもお客さんが来ないと思う。

都心のホールで2万円近くかかるようなチェコフィルハーモニー管弦楽団やアフアナシエフのコンサートを、長年苦勞して交渉して安価で行う。これはお客様が来ますよ。つまり、最良の品質で比較的出演料の安そうな人を探して粘り強く交渉し、先ほどの意見と並

行した形でやらないと、地元優先、地元の小さな文化団体が公演するとなってもお客さんは来ない。

### ○委員

先ほどの私の意見は、地元の小さな団体というのではなくて、実績もあってクオリティが高い団体が、公演する所がなくていろいろと小屋を借りて行っている現状があるので、それを1年に1回発表の場を提供するなど練馬区がサポートしますよという意味で申し上げました。

よって、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団やベルリン・フィルハーモニー管弦楽団というメジャーなものではなくて、実際にチェコフィルだとか、あまり日本で知られていなくても優秀で一流の楽団があるので、いろいろ専門家にご意見を聞いて、単独で練馬に呼ぶことが実現するといいなと思います。

### ○委員長

ご意見をさらにいただきたい課題の（1）「民間などの施設」というのは、どのようなものになりますか。

### ○事務局

例えば学校のホールなどの施設を借りて、使わせていただくとか、後はお金との兼ね合いになりますが、民間のスタジオや、区民の方が身近で行きやすい場所の選択肢を増やしたいというのが趣旨です。

### ○委員長

私は練馬区立美術館の運営協議会会長を務めていますが、絵を貸出して、展覧会を小学校などでやってくれとの要望がある。しかし、絵は光が当たるだけで退色し傷んでしまいます。また、盗難や絵の破損、湿度や光や盗難予防など、いろいろなことをしないといけない。区役所の中ならいいですが、不審者への対応の点でも安易に小学校を使うとなると大変です。そういう要件を、他の事業をされる場合でもこれらを踏まえた上でのご提案なのかどうか気がなったのですがいかがでしょう。

### ○事務局

今まで使い勝手の良い場所で行っていましたが、心配はありませんでしたが、いろんな施設に拡大して事業を行うとなると、そういう心配はあります。本格的なオーケストラは設備の点からも難しいのではと思いますが、ソリストをお願いして、まちかどコンサートのようなものを実施することは可能かと思います。

### ○委員長

ソリストも、良いピアノがなくては困ると思う。音響効果が悪い施設であると弾きよう

がないです。

### ○事務局

アトリウムミニコンサートを区役所 1 階のホールでやっています、発表の機会を多くという趣旨のもと、芸術家の卵の方々に来ていただいています。本格的な超一流の演奏とはいきませんが、そのような登竜門的な場を設けたい。例えば足の不自由な方が練馬に来るのは難しいけれども、近くの施設だったら聞きに行けるのではないかと考えています。ただ、本格的な公演の提供は難しいとも考えます。その辺の兼ね合いで考えられればと思っています。

### ○委員長

「本格的」というのは、取り方がいろいろとあります。ただ安易に小学校の教室が空いているからそこを使うという考えは、やめた方が良くと思います。また、いい演奏家に関してですが優秀であればあるほど小学校の教室ではとなってしまう。思いつきで実施するといろいろな問題が出てきますので十分考えて行ってください。

### ○委員

文化芸術という言葉が、（2）（3）に出てきますので伺います。まず、区政モニターアンケート結果（概要）の問 7、「文化・芸術」という言葉から連想するもので「文学」が 4.2%です。また、文化振興協会友の会会員アンケート結果の問 1 2、練馬区文化振興協会が新たな事業を行う場合、望むものでこちらは「文学」が 14.3%でした。

これだけの違いがどこにあるのかと考えたら年齢差かもしれません。区政モニターアンケートでは、60代から70代で37%に過ぎないが友の会会員アンケートですと60代から80代で84%になります。若年層と年配の方との間に「文化・芸術」ということに関して、「文学」ということだけを考えましても、ずれがあるのだらうと思います。

ずれがあっても良いのですが、年齢層を意識して「文化・芸術」という言葉を考えた方がよいのではないかと思います。

### ○委員長

「文学」についてですが、文学が何かということであれば、既成、あるいは既に亡くなった作家たちのいろいろなものが多いと思います。先ほどの答えは「文学をつくる」という要素が抜けていたのです。

だから、最近全国の各種各様の文学賞の乱立に憤りを感じているのです。以前静岡県で「伊豆の踊り子音楽賞」という賞を出したいと話がありましたが反対をしたところ、静岡県は「世界翻訳コンクール」という大変良い企画を出しました。日本の小説や評論を英語やフランス語・ドイツ語などに翻訳してもらい5編ずつ入賞者を決定し、世界に発信する

というものです。世界中の人から申し込みがあり大変良い企画となっています。

練馬の童謡、童話コンクールや練馬の風景についての文章コンクールなどで、文学へのいろいろな区民の方々の参加という形は可能だと思うのです。つまり、亡くなった方の遺品を眺めるだけが文学ではなく、作るのが真っ先になれば困るのです。

### ○事務局

（2活動の場の充実の説明。）

### ○委員

3 ページの 3 についてですが、一つ目にもものを作るということで、学校を含めて教室を開設してはどうかと思います。二つ目にアトリエなどを開放してくれるところがありますので、アトリエを見てもらったり作っているところを見ていただくという見学会の開催。三つ目に、台東区の学校が、空いた教室を SOHO のように活用し若者が集まってやっていますが、自由創造、創作の場、芸術の場として SOHO のような形の設置。四つ目にアマチュア作品の発表の場の設置。最後に顕彰の機会を創設するのが良いのではと思っています。

### ○委員長

今このような作品発表の場というのは、文化担当で何か行っていますか。

### ○事務局

アマチュアを対象にということであれば美術館では、練馬区民美術展（旧名称練馬区アマチュア美術展）を実施しております。

区では、アカペラコンテストを毎年 1 回開催しております。昨年度から賞金制にしたところ、応募数も増加いたしました。レベルも上がってきまして今後も継続して実施していきたいと思っています。

### ○委員長

一方的な、片方だけが良いのではしょうがないのです。事業を行えば、相手方が応じてくれて、それに応じてまた変わるというような、総合的な刺激の仕組みが必要ですので、これを踏まえながら、どういうことが可能か考えていただければと思います。

### ○事務局

その他、課題として文化活動を発表する機会の充実および青少年にとって区内に拠点となる文化芸術活動場所を提供するに当たってはどのようなことが考えられるでしょうか。

### ○委員長

先ほどの話になってしまいますが、小さなソロコンサートを開くにしても教室では難し

ということもあるので、この教室はどのように使えるかということのを区で調査・精査していただきたい。また機会の充実についてですが、例えば散文でも写真でも良いと思いますが、練馬区から賞金があまり出なくても、応募してみたいという魅力のあるやり方で行っていただければ良いと思います。

**○委員**

場所を借りるとするのは美術の方も音楽の方も大変です。場所として教室が良いという人に対しては、古いところを少しきれいにして貸出して、写真展や美術展等小さな展覧会をするなどすれば、それほど費用がかからなくて良いと思います。

**○委員長**

やはり空いた教室の活用についての調査は必要と考えます。教室が空いているから使えばいいという安易な発想だと、管理体制の問題等が生じ、うまくいかないと思います。

**○委員**

この文化活動を発表する機会を文学と考えますと、それを発表する機会はどうなるか。文学賞は乱立しているわけですから、そうすると文学関係では考えなくてもいいのかなと思ってしまいます。

**○委員長**

朗読がとてもはやっていますから、読んでいただくのはどうか。フランスでは、毎日の行事の中に「朗読」という項目があるくらいです。教会やカフェの2階や大学の教室などで、大変有名な人気の詩人や学生などいろいろな方がやっていて、それを老夫婦がテキストを持って聞きに来ています。詩というと二の足を踏む人が多いけれども、自分の生涯、過去の記憶や少年期の話など、審査はしないでテーマを絞って朗読してもらおう。それを聞きに来てほしいという場を作れば、案外お客様は来るのではないかと思います。

**○委員**

耳から入るとするのはいいですね。

**○委員長**

これであれば賞金を出す必要もない。

**○委員**

これも、音響効果は音楽などと同じようないい場所を考えればいいということですね。

**○委員長**

音楽ほど厳しくはないと思います。外の雑音が余り入らないところであれば、小学校の教室で十分です。

**○委員**

私の分野ですと民話の朗読がありまして、本を読むのではなくて、実際に動作をつけて朗読します。おそらく全世界的にも広まっているだろうと思います。

### ○委員長

素人の作品ばかりでは来る人も限られてくると思いますので、時々若手の俳優などに頼んで朗読してもらうとかを交えると、うまく根付くのではないかと思います。

### ○委員

私はもう一つの考え方として、このような芸術的なことは、発表の場と、ものを考えたり創作したりする場がある程度分かれてくると思います。練馬区という地域を見ると、芸術発表の場になる地域、つまり人がたくさん集まる場所というのはそんなに多くないのかなと思います。練馬区はどちらかというと、演劇であれば稽古場が多いです。例えば三谷幸喜氏も練馬区の中に稽古場を作っています。また、新宿にある芸能花伝舎というのは、元学校で地域の方の了承を得て、演劇や詩の朗読や音楽も含めて稽古場にしました。学校が決しているとは限りませんが、ものを作るための創作の場、稽古の場、リハーサルの場というところも考えていただいた方が良いのではと思っています。

### ○委員長

どのような場所でどのようなものを具体的に考えられていますか。

### ○委員

演劇の稽古場はほとんどありません。特に小さい劇団などは稽古場を探すのが大変です。それから音楽についてですが、若者の音楽は電気楽器を使いますのでスタジオが必要ですが練馬区は民間のスタジオも少ないです。また、練馬区は小さな作品を制作している会社が多いのですが、映画やテレビなどの映像作品の録音スペースを考えていただく。さらに、音の芸術作品を作っている方々に対しても、ちょっとしたアトリエがあったらいいなと思います。

### ○委員長

あるものを、ちょっと手を加えれば、稽古場に使える程度のことにするのであれば大変ではないと思いますが、最近は空き倉庫も増えていると思います。これから今おっしゃったような形のものを作るのは、箱物を作ることになってしまい大変です。

### ○委員

練馬区には演劇の稽古場がたくさんあるよとなれば、若い連中が来ます。下北沢はバックヤードがあるから集まるので、バックヤードがない限り下北沢のようにはならないです。やはりバックヤードとしては、稽古場を周りに置くということが大事だと思います。

### ○委員長

「練馬は演劇の宝庫である」とね。

### ○委員

余りお金がかからずにできるというのは、稽古場であれば教室を整備すればいいと思います。東京室内歌劇場の例で言うと、江東区や足立区の倉庫が稽古場になっているところがありまして、みなさんそこに行っています。学校では倉庫のようにはできないのですけれども、もし空き倉庫があるとなると練馬に集まってくると思います。

昔の下北沢と今の練馬や桜台、江古田は、住宅街が近接していて商店街があつてという点で似ています。江古田は「ださい下北沢」と言われているそうです。だから下北沢を何かモデルにすれば、いろんなことが考えられるのかなと思いました。

下北沢と江古田の大きな違いは、下北沢の駅前には、本多劇場を持っていた人があそこでお店をやっていたように自分たちの土地なのです。練馬区や江古田に住んでいる方が江古田駅前にいらっしゃらないので、駅前の開発になかなか乗ってくれなかったのですよ。

### ○事務局

（3 育成支援等の充実について説明。）

### ○委員長

4 ページ 2 に三大学の学生たちを活用してとありますが活用できますか。

### ○委員

江古田のまちにシャッターペイントをしたことがあって、どこのペイントもそうですが、古くなると補修しなければならない。学生たちは卒業してしまうので継続などそういう後のケアが、何かシステムとしてうまくあるといいなと思っています。学生もつながってはいくのですが、なかなか広範にはいかないものです。

### ○事務局

（3 育成支援等の充実についての課題として、2 点説明。）

### ○委員

武蔵野音楽大学で言えばアートマネジメントを学ぶ音楽環境運営学科が、3 年生までしかおられませんので、これから考えなければならないのですが、外で実習をさせたいと考えておりますので、将来的には可能性はあると思います。

### ○委員

武蔵大学ですと学芸員を養成しておりますので、学芸員の実習で、区の日ごろからのご協力などがいただければ、そのスタッフ、つまり学生の世話をしている教員と区との間に

太いパイプができ、教員も熱心になってカリキュラム改革でこのような単位認定もできます。初めは、区で一生懸命企画をされても、学生が乗ってこないということもあると思いますが、学生が乗れるような形を考えていただければ、カリキュラム改定は熱心にやっておりますので十分に可能だと思います。

### ○委員

江古田ではやっていないのですが、所沢ではやっています。所沢の小学校で時間外に管弦楽のブラスバンドの指導をしたり、卒業製作のトーテムポールを作る手伝いなど美術、デザイン、音楽の学生が時間外でお手伝いに行っています。それをシステム化することは難しくないと思います。

それから、4 ページの 4 についてですが、一つ目に人形を作っていくアニメーションをクレイアニメといいます。クレイアニメを実際に作っている方、練馬在住の方はアニメーションをやっている方が多いので実際におやりになっていて教室もやっています。習いたいという方は多いのですが、インターンシップ的に区に支援をしてもらおうと、材料費を含めて受け入れやすいかなと思います。

二つ目にインターンシップの受け入れの資金の協力について制度化できないだろうかという点です。

三つ目にアニメーションもセルから、クレイや 3D やコンピューターに変わってきています。趣味からプロへの援助を、いろいろな教室も含めてやれるといいなと思います。

四つ目と五つ目は、ショップを区で買い上げるのはいいなと思っています。例えば江古田には「ゆうゆうロード」という商店街がありますが、いくつかシャッターがずっと閉まっています。そのようなお店で自分も何か売ってみたいという人がいるのです。区でそういうようなものに援助はできないのか。商店街のシャッターがずっと閉まっていると寂しくなってしまう。荒川区では区でお店をある期間借り上げて、そういう方が商品を売るというショップがあるようです。これにインターンシップを活かしていけばうまくいくのではないかなと思います。

### ○委員長

先ほどから繰り返しになりますが区として調査・検討が必要です。

### ○事務局

4 ページ 4 の⑤のネットショップも、④と同じようにネット上でというものですか。

### ○委員

「練馬区」というネットショップを作っはというものです。小物を作っていたり、大泉では趣味として猫を中心に小さい絵を描いている方がいて、それを自分たちで集めてシ

ヨップを作っています。区でやるという意味ではなくて、そういうものを区として活用できる場をつくれればいいと思うのです。

### ○事務局

（4 伝統文化の継承・発展について説明。）

### ○委員

5 ページ 2 についてですが①も②も伝統文化はリーダーの育成が大切だと思っています。①地域密着型は現実にはリーダーの方がいるのであれば、そのリーダーの方を地域の学校へ派遣し、小学校一、二年生から教えるのも良いと思うし、また、音楽の授業には日本の和太鼓や三味線を使うようになりましたので、そのようなところも活用したらどうかと思います。春日町にも高校の先生で藤内鶴了さんという方がいらっしゃって、ご夫婦で琵琶を作って演奏もやっています。

それから②総体型は、興味はあるが稽古場までが遠い人、遠いから迎えに来てくれるのであれば練習できるというリーダーの方もおりましたので、特に夜間、練馬区のバスが活用できればと思います。そのようなところに「伝統文化バス」を作ってみてはどうか。

また、講師の派遣をいろいろな形で創設できればと思いますが、時間外の活動や、場所の提供という部分も含めて、行政でやっていただければうまくいくのではないかと思います。

### ○委員

貫井囃子のような伝統的なものもあります。

### ○委員

練馬区の伝統文化ではありませんが、日本仏教の音楽で声明(しょうみょう)があります。あれは仏教のグレゴリオ聖歌みたいなものかと思います。真言宗観蔵院という寺で10年近く前に復活させ毎年行っています。20人ぐらい若いお坊さんを全国から集めて声明をやっています。伝統文化と考えれば、まさに日本全体の中でもユニークなものです。

### ○委員

声明は、国立劇場がサポートして1年に1回ぐらい講演をやっており、新しい声明を作るそうです。

### ○委員長

石神井公園ふるさと文化館も現実には建物ができてきて、今日の委員の意見を踏まえれば、この施設はこの空間を使えばいいかということも思い付くと思います。場所とその構造と環境とを考慮して、アイデアを出し、考えていくべきだと思います。

**○事務局**

（5 情報提供システムの整備の説明。）

**○委員**

7 ページの 7 についてですが、練馬区のホームページに例えば文化芸術情報というバナーを立ててはどうかと思います。告知広告については、毎月 15 日に文化芸術だけに特化した文化芸術区報を出せばと思っています。また、街頭テレビによる告知で、江古田の「ゆうゆうロード」にあるように、練馬区内にいくつかあるので、そういうところでも告知したらと思いました。最後に区内の小中学校に子どもを対象としたいろいろな文化芸術における掲示広告はほぼないので、子ども向けのものを先ほどの伝統芸能も含めて、行ったらどうかと思いました。

**○事務局**

（6 財団法人練馬区文化振興協会との連携強化について説明。）

**○委員長**

やはりバラバラでは困るので、組織の一元化は結構です。

**○事務局**

（7 区内の大学などとの連携・8 協働体制の整備について説明。）

**○委員**

身近で見たいもの基金を創設しているところがいろいろな地域であるそうですが、いつまでも行政が興業主としてやっても、黒字になるには難しいので、例えば来年見たいもの基金のようなものを作ればと思いました。

**○事務局**

（9 練馬区基本構想審議会からの答申を踏まえた新たな取組について説明。）

**○委員**

アニメは練馬区にとって大事だと思っています。東映アニメーションや巨匠の方が多くいるので、区全体でアニメに関わるイベントを実施したら良いと思います。イベントは継続の中の一つの出来事に過ぎないので、継続的に何かやっている上での周年行事的なイベントでないとだめだと思います。継続的に支援をお願いしたらいいと思います。

**（2）次回の開催日程について**

○委員長

次回の開催日程は7月27日（月）午後4時からです。

3 その他

○事務局

今回もご意見シートを送付させていただきます。本日の資料1のご意見やさらに課題等、何かお気づきの点についてご意見をいただきたいと思います。

4 閉会

○委員長

以上で閉会いたします。ありがとうございました。